

2026 年度 慶應義塾大学 社会学研究科入学試験

博士課程（春期）英語

出題の意図

社会学専攻

問題Ⅰ（１）（２）

現代社会における新しいメディアとヒトとの関係についての英文読解を通じて、社会学、文化人類学の博士課程の学生として基礎的な英文読解の能力の有無を判断するための問いである。そのため本文の要約とキー概念が理解できているかを問う問題を出題した。現地の文化を知らない受験生には初見のフォークタームも散見されるが、辞書にも載っていない知らない単語が出て、文章全体の内容を捉えることができる力が求められる。

問題Ⅱ（１）（２）

本問題では、Charles Tilly が著した *Durable Inequality* の中の、社会におけるカテゴリーがどのように不平等を生み出すのかという社会階層理論に関する英文を出題に用いた。本問題を通じて、受験生の社会学的著作における英文の読解能力、理解能力を確認した。

さらに、本英文の概要や主要な論点から、受験生自身の理論的な展開能力を確認した。

以上の２点が、本問題の出題意図である。

心理学専攻

(1)博士課程で心理学研究を進めていくために必要な英語の読解、表現能力を問う問題である。

(2)博士課程で心理学研究を進めていくために必要な心理学、認知科学に関する英語の学術文書を論理的に理解し、それを正確に日本語にて表現する知識と文章力が問われている。

以上